

第5学年 社会科 学習指導案

令和7年6月11日水曜日 5校時

5年1組 児童数25名

1 単元名 「日本の国土とわたしたちの暮らし」(全20時間)

2 小単元名 「3 自然条件と人々の暮らし」(全10時間)

3 小単元の目標

- 我が国には地形や気候などの自然条件から見て特色ある地域があり、人々は自然条件の中で工夫しながら生活していること、人々は自然条件を生かして野菜や果物、花卉の栽培、酪農、観光などの産業を営んでいることなどを基に、我が国の国土の様子と国民生活について理解できるようにする。
- 社会的事象の見方・考え方を働かせ、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活について、人々は地形条件や気候条件をどのように生かしているのかなどの問いを設けて調べたり、国土の自然環境と国民生活の関連を考えたりして、調べたことや考えたことを表現する力を養う。
- 地形条件や気候条件を生かした国民生活について、予想や学習計画を立てたり、他の都道府県と比較しながら考えたりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする態度を養う。

4 観点別評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
①地形や気候などの自然条件から見て特色ある複数の地域をデジタルツールを用いて比較し、自然環境と国民生活との関連について理解している。	①自然環境から見て特色ある地域の人々の暮らしや産業、観光などに着目し、考えたことを文章で記述したり、資料を基に説明したりしている。	①地形条件や気候条件を生かした国民生活について、予想や学習計画を立てたり、他の都道府県と比較しながら考えたりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
②国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、人々は自然環境に適応して生活していることを理解している。	②国土の位置と地形や気候を関連付けて国土の特色を考えたり、国土の自然条件と国民生活との関連に着目して、調べたりしたことを表現している。	

5 単元について

(1) 学習指導要領との関連

本小単元は、学習指導要領の次の内容を受けて設定した。

第5学年

(1) 我が国の国土の様子と国民生活について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(イ) 我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解すること。

(ウ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 地形や気候に着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現すること。

(2) 教材について

本教材は、地形や気候などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめていく中で国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉える学習指導要領の第5学年で取り扱う内容の(5)に関わるものである。また、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することを通して、我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることに目を向けさせるものである。

本時では、北海道を取り上げ、北海道の自然条件のメリットやデメリットに着目させながら「北海道の人々はどんな生活をしているのかな」という学習課題のもと学習を進めていく。人々は地形条件や自然条件をどのように生かしているかや自然にどう対応して生活しているかなどのそれぞれの問いを大切に、より国土の自然環境と国民生活の関連を考えることができるようにする。

(3) 単元デザイン

基礎・基本の指導	個別最適な学び		協働的な学び
【基礎・基本の指導】	【指導の個別化】	【学習の個性化】	【協働的な学び】
①自然環境と国民生活との関連について理解するために、地形や気候などの自然条件から見て特色ある地域の人々の暮らしや産業等をまとめる。	①我が国の国土の地形や気候の概要、そして人々が自然環境に適応して生活していることを理解するために、個人の進度や特性に応じて教科書や関連ウェブサイト、動画コンテンツを活用する。	①興味・関心等に応じて、問題解決をするために、地図帳や各種資料、関連ウェブサイト、動画コンテンツ等を用いて必要な情報を集め、学習したことを深め広げる。	①ロイロノートで資料を共有したり、スプレッドシートを用いて振り返りを残したりすることで、他者参照しながら学びを深め広げる。

(4) 児童の実態

質問項目	強肯定	肯定	否定	強否定
①社会科の授業が好きですか。	5	9	5	5
②社会科の授業が得意ですか。	3	12	5	4
③タブレットを使っでの学習は好きですか。	17	5	2	0
④タブレットは学習の役に立つと思いますか。	15	7	1	1
⑤自分の思いや考えを発表するのは好きですか。	4	11	5	4

質問①、質問②の結果から、本児童は社会科に対して苦手意識を持っている児童が多く、否定的な回答をしている児童が半数近くいる。しかし、質問③の結果を見ると、タブレットを使っでの学習に対しては肯定的な回答が多い。タイピング力に差はあるが、質問④の結果からはほとんどの児童がタブレットは学習の役に立つと回答していることが分かる。ICT を効果的に活用することで、社会科への苦手意識をなくし、児童一人一人が問題意識を持って意欲的に学習に取り組んでほしいと考える。

普段の社会科の授業の様子から見ると、社会的な事象やニュースへの関心が薄く、単元の導入で問題を見出すことが困難である。本単元では、前小単元の学習も結び付けながら、児童の興味関心をひきつける資料や情報を適切なタイミングで提示していきたい。また、一人一人が調べている内容や資料をクラス全体で共有できるようにすることで、自然と集団で学ぶ雰囲気を作り出し、自分の思いや考えを相手に伝えたいと思えるように単元構成を工夫したい。

6 研究主題に迫るための手立て

【研究主題】

自律的に学ぶ児童の育成を目指した授業づくり

～単元デザインの創造とクラウドの活用を大切に～

(1) 教材・教具の工夫

- ・ホワイトボードに一人一人の学びの記録が残るようにしておく。
- ・前小単元で学んだ国土の気候や地形の特徴は単元を通して掲示しておき、自然条件と国民生活との関連が考えやすいようにする。

(2) 学習活動の工夫

- ・北海道を取り上げ、観光、農業・産業、暮らしの工夫に着目して学びを深めていく。
- ・毎時間の最後には、知識を広げる個別の時間をとり、北海道と比較しながら他の都道府県についても自分で調べていく。

(3) ICT 活用の工夫

- ・ロイロノートの共有ノートを用いて、それぞれが学んだことを共有できるようにする。
- ・毎時間の振り返りをスプレッドシートに残していくことで、自身の進度に合わせた学習ができたり、友だちの学びを他者参照したりできるようにする。

7 小単元の指導計画(全10時間)

	時	○学習活動	◇支援・手立て【評価】
第一次	①	北海道と沖縄県を比べよう！ ①前小単元での学習を振り返りながら、地域の様子を比べる。 【学習課題】自然条件に特色のある地域の人々はどんな生活をしているのかな？	◇気候や地形が違いと結び付けて、地域の様子の違いに気付かせる。 ◇自分たちの暮らしと比較しながら予想を立てる。
	② ③ ④ 本時	気候に特色のある地域を調べよう！ ②観光に着目し、自然条件との関連を考える。 ③農業・産業に着目し、自然条件との関連を考える。 ④暮らしの対策に着目し、自然条件との関連を考える。	◇気候に特色のある地域の人々の暮らしについて調べ、気候との関連に気付かせる。 ◇デメリットにも着目させる。 【知識及び技能】① 【思考力・判断力・表現力等】① 【主体的に学習に取り組む態度】① 【基礎・基本の指導】① 【指導の個別化】① 【協働的な学び】①
第二次	⑤	キャッチコピーを考えよう！ ⑤今までの学習を振り返り、北海道と沖縄県にキャッチコピーをつける。	【学習の個性化】①
	⑥ ⑦	地形に特色のある地域を調べよう！ ※方法・形態・進度・まとめ方は自分で決める ⑥⑦低地と高地に住む人々の暮らしに着目し、自然条件との関連を考える。	◇地形に特色のある地域の人々の暮らしについて調べ、地形との関連に気付かせる。 【知識及び技能】② 【主体的に学習に取り組む態度】① 【基礎・基本の指導】① 【指導の個別化】① 【協働的な学び】①
	⑧ ⑨	調べたことを広げよう！ ⑧⑨今まで学んだことや調べたことを振り返り、観光、農業・産業、暮らしの工夫の観点を基に他の県を調べてみる。	◇調べた地域の様子を基に、自然条件と暮らしや産業との関係について考えを深めさせる。 ◇学習形態や進度は自由に選択させる。 【思考力・判断力・表現力等】② 【学習の個性化】①
第三次	⑩	調べたことを紹介し合おう！ ⑩それぞれが調べたことを5年2組と紹介合う。	【思考力・判断力・表現力等】② 【主体的に学習に取り組む態度】①

8 本時の指導(4 時間目/全10時間)

(1) 本時の目標

- ・北海道の気候に着目して、冬の寒さや雪に備えた暮らしの工夫を人々が取り入れていることを捉える。

(2) 授業を見る視点

①教科の観点

- ・児童が自分事として学習課題に向かえるような単元デザインになっていたか。

②ICT の観点

- ・ロイロノートの共有ノートで資料を共有することで協働的な学びを促せていたか。
- ・スプレッドシートを活用しての振り返りは効果的であったか。

(3) 本時の展開

	○学習活動 T：教師の発問 C：予想される児童の反応	◇指導・支援 ☆ICT 機器活用のポイント 評価【評価基準】(方法)
導入 3分	○前時までの学習を振り返る。 T：どうして移住人気ランキングになると、順位が下がるのかな？ C：やっぱり雪がたくさん降るから住みにくいんじゃないかな。 T：～3 m 3 cm のテープを見せる～ ※北海道の積雪の過去最高記録であることを伝える。 C：わたしの背よりもずっと高い！ 怖い…。北海道の人々はどうやって暮らしているのかな？ ○本時のめあてを知る。	◇北海道の自然条件のデメリットに着目させ、暮らしの安全性への疑問を持たせる。 ◇実際の高さをテープで表すことで、雪の怖さを実感させる。
展開 25分	○北海道の暮らしの対策を予想する。 T：どんな対策をしていると思う？ C：雪かきを毎日しているんじゃないかな。 家の中にずっといるんじゃないかな？ ○北海道の家の写真を見て気付いたことを話し合う。 ○北海道の暮らしの対策について調べる。 (個人・ペア・グループ) →全体共有	◇北海道の家の写真を見せ、まずは見た目に着目させる。 ☆ロイロノートで写真を一斉配布する。 ◇その特徴は何のためのものなのか考えさせ、自然条件との関連に着目させる。 ☆教科書やタブレット、その他の資料を活用して情報収集をさせる。 ☆調べた資料をロイロノートで共有させる。 【知識及び技能】①

		【思考力・判断力・表現力等】① (発言・ロイロノート・ノート)
まとめ 2分	○学習のまとめをする。	北海道の人々は寒さや雪に備えて、 家のつくりや道路など様々な対策をしている。
個別 15分	○北海道と比較して沖縄県について調べる。 ○学習を振り返る。	☆タブレットや教科書、その他の資料を活用して情報収集をさせる。 ☆調べた資料をロイロノートで共有させる。 ☆スプレッドシートを用いて振り返りをさせる。

(4) 板書計画

学習課題 北海道の人々はどんな生活をしているのかな？ <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">旅人気ランキング</th> <th colspan="2">移住先希望地ランキング</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1位 北海道</td> <td>1位 静岡県</td> <td>6位 福岡県</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2位 京都府</td> <td>2位 群馬県</td> <td>7位 北海道</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3位 沖縄県</td> <td>3位 栃木県</td> <td>8位 山梨県</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>4位 長野県</td> <td>9位 山口県</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>5位 宮城県</td> <td>10位 広島県</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 雪、寒すぎる→住みにくい？ ☆積雪の最高記録…3 m 3 cm 予想 ・雪かき ・家にこもる 	旅人気ランキング		移住先希望地ランキング		1位 北海道	1位 静岡県	6位 福岡県		2位 京都府	2位 群馬県	7位 北海道		3位 沖縄県	3位 栃木県	8位 山梨県			4位 長野県	9位 山口県			5位 宮城県	10位 広島県		㊦ 北海道の人々の暮らしの対策を知ろう 	㊦ 北海道の人々は寒さや雪に備えて、家のつくりや道路など様々な対策をしている。 個別 沖縄県 暑さ対策？ 台風対策？ 「自然条件と人々の暮らし」 一学習の手引きー ①つかむ (全体) ・学習課題をみつける ? 疑問・ 知りたい! ・予想して計画を立てる 調べること・調べ方 ②調べる (自由) 個別・個人 ・情報を集める 教科書・web サイト・解説動画 (NHK for School) ③まとめる 個別・個人 ・わかったことを整理する ・自分の考えを表現する ・お互いの考えを交流する 
旅人気ランキング		移住先希望地ランキング																								
1位 北海道	1位 静岡県	6位 福岡県																								
2位 京都府	2位 群馬県	7位 北海道																								
3位 沖縄県	3位 栃木県	8位 山梨県																								
	4位 長野県	9位 山口県																								
	5位 宮城県	10位 広島県																								

(5) 準備物

ホワイトボード、プロジェクター、タブレット、並行図書、写真や資料、学習の手引き